

令和3年度全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会 優秀論文表彰伝達式を執り行いました

紀伊山系砂防事務所

全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会実行委員会が主催する発表会において優秀論文に選ばれた発表者に対して、表彰状の伝達式を執り行いました。



表彰状授与の様子

優秀論文表彰伝達式

開催日時：令和3年6月18日 午前10時
開催場所：紀伊山系砂防事務所 会議室
受賞者：松本健太郎 氏 [鹿島建設株式会社]
(赤谷3号砂防堰堤工事 監理技術者)
優秀論文：赤谷3号砂防堰堤工事における無人化
施工の活用実績について

論文の概要

令和2年2月から「赤谷3号砂防堰堤工事」(受注者：鹿島建設株式会社)に着手。立入禁止区域※内において無人化施工を活用した土砂等の掘削・積込・運搬及び法面整形、斜面変動や天然ダムの水位等を一元管理する警報伝達システムを活用した作業員の避難対策等といった、施工現場における安全確保への取り組みが評価されました。

※奈良県五條市赤谷地区では、平成23年紀伊半島大水害により大規模斜面崩壊が発生。崩壊斜面からの再崩落の危険性もあり、降雨が増す出水期(6月15日～10月31日)は立入禁止区域を設定しています。

山本事務所長のコメント

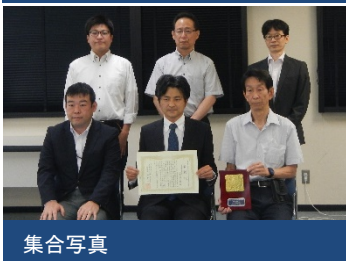
平成23年の紀伊半島大水害により河道閉塞が発生し、斜面変動が発生しやすい箇所での施工のため、とりわけ安全対策が求められる現場です。今回の取り組みは、国交省が推進しているインフラDXの最先端をいくものであり、全国の模範となる取り組みであると認識しています。今後も安全かつ確実な施工をお願い致します。



鹿島建設(株) 松本氏



山本事務所長



集合写真

優秀論文を発表した松本さんのコメント

振り返ると、約9年9ヶ月の間、赤谷地区での河道閉塞対策工事を実施してきました。この間にもいろいろな被災があった中で、紀伊山系砂防事務所と連携を取りながら何とか進捗させることができています。

昨年度はECI業務の一環として、斜面直下での大変危険な場所において無人化施工を行いました。

今年度は堰堤構築にあたり、作業の一部に対して自動化施工を適用し、安全かつ所定の品質を確保しながら、効率化についても検討を行い、施工を進めていきます。

引き続き皆様のご支援等を頂きまして、安全に施工を実施していきます。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 工務課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL：0747-25-3111 (代)

